

2011年6月

アルミスクーバタンクの純酸素使用について Ver.3

ダイビング高圧ガス安全協会
diving-gas@ocean-beyond.com

スクーバ用アルミタンクは、酸素用にガス種変更が可能となりました。

2011年5月に、経済産業省原子力安全・保安院保安課から各都道府県へ、圧縮空気で使用しているスクーバ用アルミタンクを、スクーバ用純酸素へ転用する事が可能であるとの解釈が示されました。

スクーバ用アルミタンクを空気から酸素に変更する場合

1. ガス名変更の手続き

ガス名変更の手続きは、当該容器の容器検査を実施した都道府県又は高圧ガス保安協会に申請してください。

(留意点)

- (1) 「SCUBA」の刻印はそのままです。
- (2) ガス名刻印の「AIR」を二本線の打刻で消し、酸素用として新たに「O₂」の刻印。
- (3) 空気の塗色「ねずみ色」から、酸素の塗色「黒色」に変更。

2. 酸素に変更した後の取扱い

(1) 内部目視検査

圧縮空気と同様に、登録された容器検査所で毎年の内部目視検査（特定再検査）が必要です。

(2) 周知義務

周知義務も圧縮空気と同様に必要です。

(3) タンクに接続する機器類

使用するレギュレーター、残圧計等の酸素に触れる機器類は、酸素用として使用可能な油分の無い物を使用し、これらの機器類は圧縮空気と互換しないで下さい。

3. 容器検査所へのお願い

(空気からスクーバ用酸素へ、ガス名変更するにあたって)

- (1) 必ず容器内部の油分除去を行って下さい。
- (2) バルブは禁油（油分の無い酸素用）の物に交換して下さい。
- (3) バルブのタンク取り付けネジ部、および取付部のOリングに使用するグリスは、酸素用の物を使用して下さい。

ご質問は下記宛てにお願い致します。

ダイビング高圧ガス安全協会
メール <diving-gas@ocean-beyond.com>
<http://www.ocean-beyond.com/scubasafety/>
オーシャン&ビヨンド気付
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-17-5宮下ビル7F